

# 外部検証委員会（暮らし分野）次第

日時 令和元年 5 月 27 日（月）午後 7 時から  
場所 益子町役場休憩室

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 配布資料の確認
- 4 案件
  - (1) 地方創生関連事業に関する実績検証
  
  - (2) 概要説明（民生部長）
  
  - (3) 施策ごとの検証（シート每ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑）
  
  - (4) 新ましこ未来計画の一部改訂について（概要説明：事務局、質疑対応：担当課）
  
  - (5) その他
- 5 閉会

## 配布資料

- 1 本次第
- 2 新ましこ未来計画の一部改訂について

## 外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後10日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新ましこ未来計画外部検証委員会（暮らし分野）議事録

日時	令和元年 5 月 27 日(月) 19:00～20:10	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	市川委員、上野委員、呉浦委員、高松委員、村田委員
	職員	木村民生部長、高浜総務課長、日下田企画課長、仁平環境課長、富賀瀬健康福祉課長、河原高齢者支援課長
	事務局	佐藤係長、深谷
配布資料	次第、推進シート、事前質問・回答一覧、新未来計画の一部改訂について	

発言者	発言要旨
委員	<p><b>1. 開会</b></p> <p><b>2. 出席者紹介</b></p> <p><b>3. 配布資料確認</b></p> <p><b>4. 案件</b></p> <p><b>(1) 地方創生関連事業に関する実績検証</b></p> <p>ターゲットはどう設定しているのか。</p>
事務局	「①近隣地域に勤務する子育て世代、②UIJ ターン希望の若者」と設定している。
委員	マーケティング調査の結果はどうであったか。
事務局	転出した理由として、交通の便が良くない等の理由が挙げられた。
委員	体験ツアーはどういうところへ周知していたか。
事務局	主にインターネットで町ホームページのほか、全国移住ナビ等移住情報に特化したサイトや SNS で周知をした。参加者も県外からの方が多く、参加した感想は地方暮らしに目を向けて見たくなったなどが多い。
民生部長	<p><b>(2) 概要説明</b></p> <p>総括シートにより説明</p>
	<p><b>(3) 施策ごとの検証</b></p> <p><b>○P.21 施策1 選ばれるまちへの転換</b></p> <p>質問なし</p>
委員	<p><b>○P.22 施策2 住み続けるまちへの飛躍</b></p> <p>夜間結婚相談会は当初から利用者が少なく、縮小していくということだが、利用者</p>

	<p>数がなぜ少ないか検証を行ったのか。また、縮小とはどういった内容か。</p>
健康福祉課長	<p>昨年度は1年間で利用者1名であった。それによって、3か月に1回の頻度に減少させる。</p>
民生部長	<p>地元だと相談に行きにくいという面もある。</p>
委員	<p>時間や曜日を変更するなど原因を探って改善する方法があるかと思うが、単純な縮小だと利用者がますます減少するだけではないか。ハッピーポケットでも一時期は利用者数が減少したが、改善を図った結果増加に転じている。外部検証委員会でも意見を聞くなど方法はあると思うが。</p>
委員	<p>他の自治体の取組を参考にするなど、幅広い視野で取り組めると良い。</p>
委員	<p>夜間相談の開始時間は何時からか。結婚適齢期の方は、勤めの関係で早い時間だと間に合わない。また、仕事帰りだと疲れていて行く気が起きなかったりすることもある。ハッピーポケットでは予約制で平日昼間も受け付けるようにしたことで、改善が図れたこともある。もう少し考えた方が良い。一年間毎月開催しておいて利用者1名では、相談員にも申し訳ないことだ。</p>
民生部長	<p>町内で婚活に関する組織もできたので、そちらでも改善策を検討していきたい。</p>
	<p><b>○P.23 施策1 豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備</b></p> <p>質問なし</p>
	<p><b>○P.24 施策2 自然エネルギーの利用拡大と省エネルギーの普及啓発</b></p> <p>質問なし</p>
	<p><b>○P.25 施策3 ごみの資源化・減量化の推進</b></p>
委員	<p>生ゴミと可燃ゴミを一緒に入れないでくださいというパンフレットが入ってくるが、可燃ゴミの袋に生ゴミを混ぜて出さないでくださいという意味か。ゴミの量はいかがか。</p>
環境課長	<p>生ゴミが減少し、可燃ゴミが増加しているのでそういうこともあると認識している。</p>
委員	<p>どちらかという若い方に多いと思うので、そういった方に周知すべき。</p>
環境課長	<p>育成会で資源ごみ回収も行っているのでもう一度周知したい。意外にも住宅地では生ごみ袋を出す人が少なく、農村部の方が多傾向にある。さらなる周知</p>

	をしていく。
	<b>○P.26 施策1 運動を通した健康づくりの推進</b>
	質問なし
	<b>○P.27 施策2 食事を通した健康づくりの推進</b>
委員	メタボの方は、自身でも改善したいという意識はあるのか。
民生部長	保健センターの体組成計は目で見える形で筋肉量などが測れるので、励みになるという声がある。毎月の健康デーに通う方は健康意識の高い傾向にある方である。栄養相談も行っているため、来ていただければ改善につながるものと考えている。また、特定検診受診の広報も力を入れて行っていることから受診率も上がっており、メタボの方があぶり出されている状況である。町民まつりでも人気があるメニューなので、今後も継続して取り組んでいきたい。
委員	特定保健指導は町ではやっていないのか。
健康福祉課長	検診を受けた方全員に指導をしている。
委員	メタボの方にはメタボの方向けの指導になっているのか。
健康福祉課長	その人に合った指導をしており、食生活改善が必要な方には栄養指導、運動が必要な方には作業療法などを個別に指導する内容となっている。また、検診の指導をすると国からの支援が厚くなる。全員への指導をしている自治体は県内でも少ない。
	<b>○P.28 施策1 高齢者のいきがづくりの推進と障がい者支援の充実</b>
委員	デマンドタクシーについて、芳賀町では日赤の乗り入れをいち早くしているようだが益子はいかがか。
企画課長	益子町には真岡鉄道があり、公共交通の観点からすると真岡鉄道を活用しつつ日赤に通院していただくことが必要である。真岡市の巡回バスが1回100円で北真岡駅から乗車することができるようになった。芳賀町には鉄道が通っていないため、乗り入れを開始したと思われる。通学での鉄道利用者が減少する中、鉄道を維持するための自治体負担額も増加していることから、真岡鉄道の利用者数維持のためにも現状にご理解いただきたい。
	<b>○P.29 施策1 防犯・防災体制、交通安全対策の充実</b>
委員	スクールガードの定員は現在満たしているのか。
総務課長	H30年度は74名が登録されている。H23年度の制度開始当初は80名だった

	ので減少している。平均年齢が65歳となり高齢化している現状である。
委員	スクールガードの方から高齢化によりやめたいと相談を受けることがある。次の世代の方が入らないことから具合が悪くても仕方なくがんばってやっているという声がある。交通指導員として指導はできないため、学校と話し合っていただくようにお伝えしている。
委員	スクールガードにも健康ポイントが付くと聞いているが、スクールガードの方の高齢化に伴い、他の自治体が夏に向けて熱中症対策グッズを利用しているニュースを見ましたが、益子町にも対策として熱中症対策グッズを貸与するなどはいかがでしょうか。
事務局	スクールガードのなり手がいない地区で育成会から4～5名応募した事例がある。その時に支給されたものは、ジャンパー、帽子、ベストであり、暑さ対策に関する配布物はなかったのであると安心かもしれない。
委員	近年、高齢者が加害者となる交通事故のニュースを見ることが多いが、益子はいかがか。
健康福祉課長	公共交通が発達していないため、免許証を返納したくても返納できない状況が多々あると思う。
総務課長	免許証の返納者数は、H28年は17名、H29年は33人、H30年は46人と増えている。年齢は80歳代が56名である。本当に運転ができなくなってからの返納なのかもしれない。
委員	子どもや孫に促されて返納する方が多いようだ。
委員	(4) 新ましこ未来計画の一部改定について 定置型蓄電池などの省エネルギー設備機器の導入に対する補助を行うというのは、太陽光発電の買い取り額単価が以前より下がってきているが、売るのではなく自分で使用しようという方が増えているという背景があるのか。
環境課長	その通りである。買い取りは10年間と決められており、近年期限を迎える人が多くいらっしやることから、自己消費する方が増加している。
事務局	(5) その他 ・外部検証・意見シートは、2週間程度でご提出をお願いしたい。
	<b>5. 閉会</b>